

### 音楽授業のない国で、音楽教育に奮戦

青年海外協力隊音楽隊員 原 沙恵子さん

世界の発展途上国で、専門技術などを教える青年海外協力隊。その一員として、原沙恵子さん(上浦)が今年7月にミクロネシア連邦へ赴任。音楽教育のない島で子供たちに音楽を教える様子がつづられた手紙をご紹介します。



私が派遣された、ミクロネシア連邦・ポンベイ州には、合わせて28人の隊員が活躍しています。その中で、音楽隊員は私だけ。それも初めてこの国に送られた音楽隊員です。この国の小学校では、実技系(体育・図画工作・音楽)

教科はまったく行われていません。

職場は全校約250人の私立ポンベイ・カソリック小学校です。幼稚園、小学校(1年生から8年生)までがあり、教育制度がまったく日本と違うので戸惑いますが、そこで音楽科導入のための準備をしています。私が来るまでは、音楽科教育は始まっていませんでした。もちろん、日本の小学校のように音楽室、ピアノ、教科書などありません。南の小さな島で音楽科教育を開拓しているといったところです。

現在、3年生から7年生までの音楽の授業を教えています。以前は、音楽の授業の時間さえありませんでしたので、校長と話し合い、音楽科の時間を確保しました。「音楽の授業=賛美歌」と考えている先生が多く、私の英語力も関係してか、説明しても理解を得にくいので、ひたすら1人で授業を進めています。英語圏なのでアメリカの小学校の教育計画を取り寄せ、その内容がポンベイの子供たちに適しているかどうかを試しながら、音楽の授業を展開している実験音楽授業です。

子供たちは、みんな音楽好き。音楽の授業が楽しいと、熱中し続けます。しかし、つまらないと、まったく人の話を聞きません。露骨に態度で表します。飽きっぽい子供たちの興味を引きつつ、効果的に教えることができるか、頭を悩ませる毎日です。英語での授業は、子供たちに発音を笑われますが、堂々とするだけ。こちらの人も母国語は英語ではないのですから。

教室内の写真は、6年生の音楽の授業中のものです。音の高さについて教えるため、音高の違う2つのコップを使って、子供たち一人ひとりに簡単な音楽を作らせているところです。

皆さんにお願いがあります。ご家庭で使わなくなったリコーダー、カスタネット、縄飛びなどがありましたら、ポンベイの子供に譲っていただけませんか。初めて楽器に触れるので、子供たちも日本から楽器が届いたら、きっと喜ぶと思います。ご協力をお願いします。

連絡先 白根国際交流協会事務局(青年教育センター内) ☎ 373・2800

### ごみの分け方、出し方 英語版パンフレットを作成

Shirone City's new system for separating and putting out trash. (Bi-lingual pamphlet)

As part of Shirone's work to reduce the amount of trash and promote recycling, this pamphlet has been designed to tell Shirone residents about the new system for separating and putting out trash.



Shirone City Shirone Kokusai Kouryuu Kyoukai

平成十一年度からごみの収集方法が変わったことをきっかけに、市では、白根市に住んでいる外国人の皆さんにもごみの出し方、分け方を知ってもらおうと、英語版のパンフレットを作成しました。これまでも、白根国際交流協会から「白根市に住んでいる外国人から、ごみの出し方が分からない」といった意見が寄せられていました。また、白根市国際交流推進計画でも「外国人にやさしいまちづくり」を掲げており、外国人への生活情報の

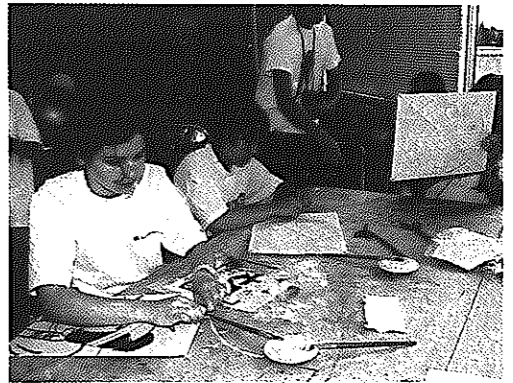
提供事業の一環でもあります。パンフレット作成に当たっては、白根国際交流協会の全面的な協力を得て原稿を作成。同協会の会員であるエド・ロビンソンさんが原稿の校正・点検をし、市で編集・印刷を行いました。今後は市内在住の外国人の皆さんに郵送で配布する予定です。ほかにもこのパンフレットを希望する人は、市民生活課環境係(☎373・2111 ☎2011203)まで問い合わせください。



①資源を使ったイベントの実施  
地域の文化、祭り、正月、大風、農業などを生かした催し、桃の花見やフルーツを使ったお菓子コンテスト

### 《外国人が気軽に参加 できるイベントの実施》

世界に誇れる白根市の伝統行事である大風合戦や、県下でも有数の農業地域である特色を生かして外国人が気軽に参加できるスポーツイベントや、文化に触れられる機会の提供をします。そして、市民と外国人が互いに理解を深められるような交流の場づくりを推進します。白根の文化を紹介するために、「外国人が気軽に参加できるイベントの実施」「白根の文化紹介、参加機会の充実」の二つの取り組みが進められます。基本施策と主な提案例は次のとおりです。



トの実施、楽しもってまつりへの参加など。

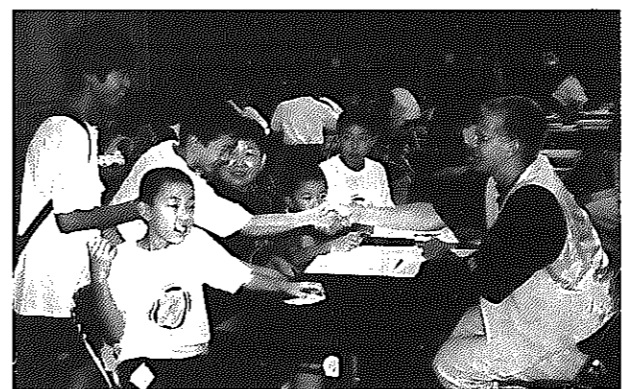
### 《白根の文化紹介 参加機会の充実》

①風をからめた国際交流事業の実施  
国際的な風揚げ大会への参加、外国向けの白根市紹介ビデオやインターネットのホームページ作成など。  
②外国人が日本文化に触れる機会の充実  
伝統文化の体験を通しての交流。さいの神への参加、地域の風刺作と風揚げへの参加、白根絞りの体験、新飯田祭りへの参加など。

### 《外国人にやさしい環境の整備》

①公共サイン等の外国語表記の推進  
観光施設や道路標識等の公共施設に外国語表記案内板の設置など。  
②外国人が気軽に集まれる施設の設置  
国際交流の核となる施設の整備や国際交流理解の部屋の開設など。

### 《外国人が安心して生活できる 情報提供の充実》



市内に在住する外国人は、七十四人(平成十年十二月末現在)。彼らを温かく迎え入れ、共に生活していくためにも、外国人が安心して過ごせるよう公共施設や観光施設の案内板に外国語表記を進めます。また、市民と在住外国人との交流や情報交換ができるよう施設整備に努めます。外国人が一人でも安心して歩けるようなまちづくりのために、「外国人にやさしい環境の整備」「外国人が安心して生活できる情報提供の充実」の二つの取り組みが進められます。主要施策と主な提案例は次のとおりです。

外国人登録に必要なパンフレットの配備、安心して生活を送るための相談や案内機能の整備と日本語を学ぶ機会の提供など。このほかにも、通訳、翻訳人材の登録や対日本人、対外国人の法律相談や指導を行うことなど。  
②外国人への生活情報の提供  
災害時、緊急時の対応方法や医療の受け方、ごみの出し方など生活情報を外国語で提供する体制の整備、外国人110番の設置や広報しるねの活用(国際交流活動についての啓発)など。

白根の伝統・文化は  
見と触れられるまちづくり

外国人にやさしい  
まちづくり